

# 表れない“声”感じて

高知心理療法研究所  
20周年シンポ 京大教授ら講演

高知市

高知心理療法研究所

なる」などと話した。

(高野祥子所長、高知

同研究所は1991

市愛宕町1丁目)の創

年に設立。箱庭にいろ

立20周年を記念するシ

ンポシウム「『ここ

る』の声を聴く」が19

療法「箱庭療法」を中

日、高知市本町4丁目

心に医療や学校現場と

の県民文化ホールで開

連携、本県の臨床心理

かれ、臨床心理士とし

学普及に中心的な役割

て活躍する皆藤章さん

を担っている。

(京都大学大学院教

法を行った相談者が最

授)が講演し、「会話

初のイメージと異なる

には表れない“声”を

結果の箱庭を作り上げ

感じれば人生が豊かに

るケースがあることを

挙げ、「心の声とは自  
分の権利を語ることで

はない。心それ自体が  
自立性を持っている」  
と指摘。

米中枢同時テロで崩  
落した世界貿易センタ  
ービルのツインタワー  
跡「グラウンドゼロ」  
やナチスドイツの収容

所跡などを訪れた時の  
写真を示しながら、

「出会った人や物を自  
分の心に触れ合わせる  
ことで、そこから何が  
発せられているかを感じ  
ることが大事」など  
と語った。

また、箱庭療法につ  
いて、「作り手の心を  
ありのままに受け取る  
ことが大事」と話し  
た。ぬくもりのある語  
り口に参加者は一言一  
言に深く聞き入った。

この後、皆藤さんと  
秋田巖さん(京都文教  
大学大学院教授)、高  
野所長が登壇しパネル  
討議も行われた。



「心の声を聞くことが大事」と話す皆藤  
章さん(高知市の県民文化ホール)